

宿根カスミソウにおけるシロイチモジヨトウの防除法

農業研究センター 農産園芸研究所 病虫部

研究のねらい

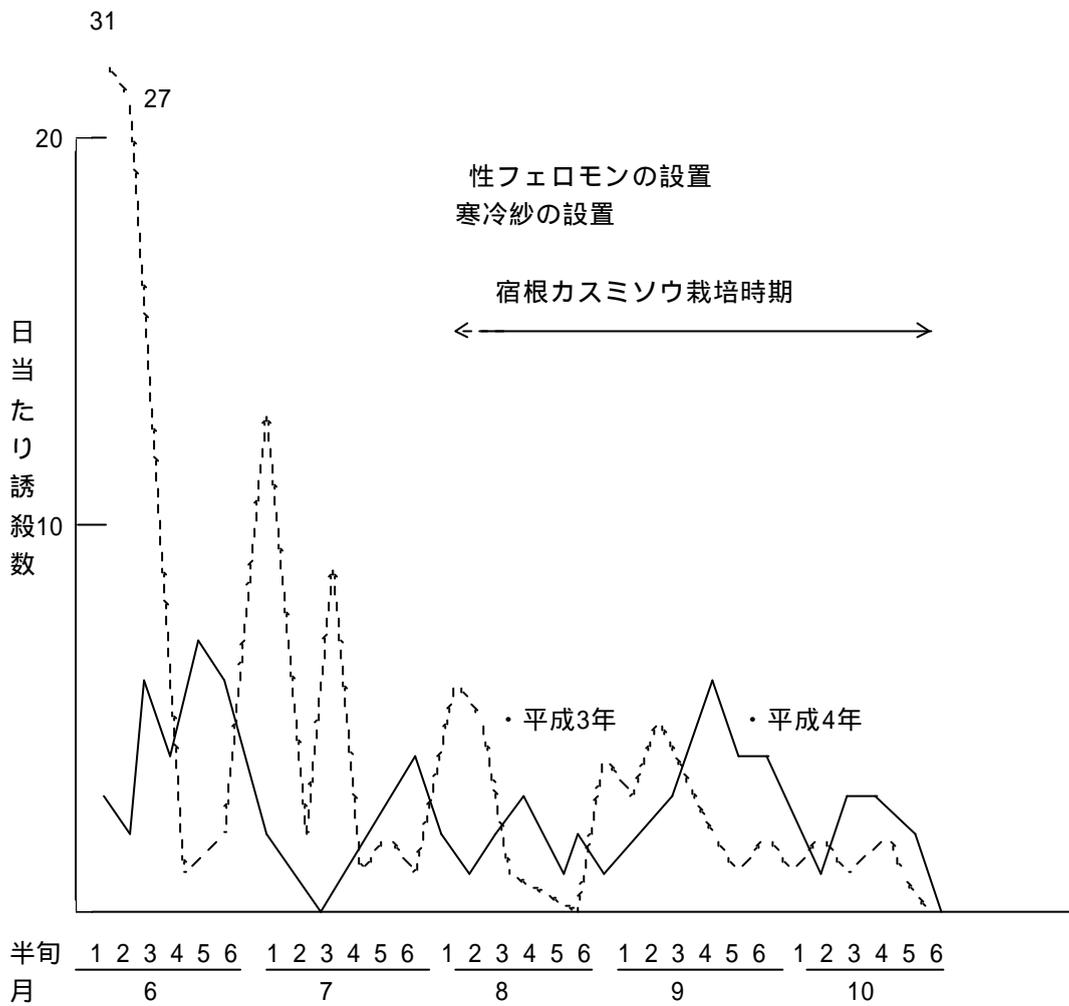
薬剤による防除が困難なシロイチモジヨトウに対し、性フェロモンを利用した交信攪乱法と耕種的防除法を確立する。

研究の成果

1. 性フェロモンの設置と雨よけ施設のサイドに寒冷紗を張ることで、宿根カスミソウの主要害虫であるシロイチモジヨトウの被害を回避できる。
2. 設置方法は、宿根カスミソウの定植前にシロイチモジヨトウの性フェロモンをハウスパイプと二重カーテンパイプに10a当り500本を等間隔に結び付ける。更に雨よけ施設の両サイドに寒冷紗を張り、成虫が産卵のためハウス内に侵入できないようにする。

普及上の留意点

- (1) 寒冷紗は台風による倒伏防止やシロイチモジヨトウ以外の蛾類による被害も防止することができる。
- (2) 性フェロモンの設置面積は、0.5ha以上ないと効果があがりにくい。また空中に漂い雄成虫が雌成虫を見つけられないようにする物質のため、常に風が強い地帯では効果が劣る。
- (3) 性フェロモン、寒冷紗とも単独でも効果があるが、両方法とも併用した方が効果が更に高い。



第1図 乾式フェロモントラップによるシロイチモジヨトウの発生消長(農家ほ場)

第1表 性フェロモン・寒冷紗単用効果(シロイチモジヨトウ発生幼虫数の推移)

試験区 月/日	8/21	8/29	9/4	9/10	9/20	10/4	10/16	10/25
性フェロモン単用	0	3.0	0.3	0.1	5.5	2.4	0.2	0.5
寒冷紗単用	0	0	0.5	0.5	5.0	2.5	2.5	・
無処理区	0	2.5	4.5	3.0	8.0	3.0	2.5	4.0

数値は100株当たり虫数

第2表 性フェロモン・慣例紗併用効果(被害株率%の推移)

試験区 月/日	8/17	8/24	8/31	9/4	9/14	9/22	9/28	10/5	10/12
性フェロモン単用	1.5	1.7	0.2	6.5	3.8	2.2	2.8	1.5	2.8
性フェロモン・寒冷紗併用	0.5	0	1.0	3.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0